

# 本学卒業生（2021年－2024年3月卒業）の キャリア形成の状況に関する調査

2025年2月

大阪歯科大学医療保健学部キャリア支援委員会

## はじめに

大阪歯科大学医療保健学部は2017年4月の開設以来、これまで280名の卒業生を送り出してまいりました。今年4月には早くも第9期生を迎え、将来の歯科業界を牽引する人材の育成を目指して日々教育を行っています。

医療保健学部キャリアセンターでは、学生が自分自身のキャリア形成に真摯に向き合い、自律的に人生を歩めるよう、学部開設以降さまざまな事業を展開してまいりました。

本学部のキャリア教育およびキャリア支援について検証し、今後の改善に活かすために、第4期生が社会に出て半年を超えた昨年10月に、卒業生の勤務状況やキャリア形成の状況に関する調査を実施しました。国内の大学が共通して抱えている問題として卒業生の現況の把握がありますが、本学も同様に、今回も調査の卒業生の回答率が非常に低くなりました。一方、卒業生の就職先である事業所からは、前回同様多数の貴重なご意見を賜りました。このことは、卒業生が就職した事業所の方々からの叱咤激励であると感じております。ご協力いただきました事業所のみなさまに深く御礼を申し上げますとともに、卒業生の意見を十分に反映できなかったことを深くお詫び申し上げます。

卒業生の増加に伴い、2023年度卒業生の調査から、事業所のみなさまには社会人基礎力について新卒者（今回は2024年3月卒業）のみに絞り、ご回答をいただきました。本学の学生の弱みであると毎年指摘されているコミュニケーション能力や積極性、社会性の不足などが、いまだに改善されていないことに忸怩たる思いを禁じ得ません。いただきました貴重なご意見をもとに、今後本学の卒業生が歯科医療業界の中心的な存在になるべく、キャリア教育およびキャリア支援を精力的に進めてまいり所存です。

末筆ですが、今回大変お忙しい中率直な、かつ価値あるご意見を賜りました事業所のみなさま、また母校のために声を寄せてくれた卒業生に、衷心より御礼を申し上げます。

2025年2月

大阪歯科大学医療保健学部キャリアセンター

## 調査概要

### 1. 調査の目的

2017年の本学部開設以後7年間のキャリア教育およびキャリア支援について検証し、改善に活かしていくために、2021年-2024年3月に本学部を卒業した第1-4期生、また卒業生の就職先を対象に、卒業生の現在の勤務状況やキャリア形成の状況に関する調査を実施した。

### 2. 調査対象者および調査対象事業所数、回答者数および回答事業所数

#### <卒業生>

- ・対象者：2021年-2024年3月に本学部を卒業した第1期生46名、第2期生75名、第3期生85名、第4期生74名、計280名のうち、キャリアセンターに卒業生登録を行っている97名
- ・回答者：第1期生9名、第2期生5名、第3期生5名、第4期生8名  
計27名（回答率 27.8%）

#### <就職先>

- ・対象事業所：2021年-2024年3月に本学部の卒業生が就職した168か所  
(2024年9月30日までに退職が確認された事業所を除く)
- ・回答事業所：94事業所(162名分)（回答率 56.0%）

### 3. 調査時期

2024年10月28日から2024年11月30日まで

### 4. 調査方法

インターネット上の調査フォームへの入力および送信（Google Forms）  
社会人基礎力は、事業所に新卒入職者（2024年3月卒業生）に限定して回答を依頼

### 5. 回答があった卒業生の勤務先内訳および回答をいただいた事業所の内訳

#### <卒業生>

- ・病院：11事業所
- ・歯科診療所：6事業所
- ・民間企業：8事業所
- ・教育機関：1校
- ・進学：1名

#### <就職先>

- ・病院：17事業所

- ・ 歯科診療所：67 事業所
- ・ 民間企業：9 事業所
- ・ 教育機関：1 校

## 6. 在職者、休職者、退職者数および退職理由（2021-2024 年 3 月卒業生全体）

調査にご協力いただいた 94 事業所においては、142 名が在職（年度途中の入職も含む）、20 名が退職しており、休職者は 0 名であった。

卒業生からの回答では、新卒で入職した事業所に在職していた者が 21 名（うち産休中 1 名、退職予定 2 名）、新卒で入職した事業所を退職し、新たな事業所で勤務している者が 5 名、進学が 1 名であった。

卒業生が回答した退職理由として、ハラスメント（2 名）、スキルアップが望めない（2 名）上司と合わなかった（1 名）が挙げられた。

## 7. 勤務先の満足度および問題点（2021-2024 年 3 月卒業生全体）

単位：人

	全体	2021年卒	2022年卒	2023年卒	2024年卒
不満	0	0	0	0	0
やや不満	6	3	2	0	1
少し満足	8	2	1	3	2
満足	13	4	2	2	5

27 名中「満足」が 13 名、「少し満足」が 8 名と半数以上を占めたものの、「やや不満」が 6 名存在した。

「不満」および「やや不満」の理由（複数回答）として、賃金（6 名）、職務内容（2 名）、休日・休暇（1 名）、人間関係（1 名）が挙げられた。

## 8. 卒業生の勤務態度（事業所）

回答があった事業所のうち、「1. よい」が 118 名、「2. ふつう」が 29 名、「3. よくない」が 8 名であった。

「3. よくない」理由として、コミュニケーション（5 名）、仕事への積極性（5 名）、礼儀や社会人としてのマナー（4 名）挙げられた。具体的には、補綴物の紛失や破損、院内での私語、問題行動、無礼な言動などが挙げられた。

## 9. 社会人基礎力

事業所に、新卒入職者（2024 年 3 月卒業生）に限定して社会人基礎力に関する回答を依頼した。無回答の事業所が多かったため、全体に占める割合は回答があった事業所の数で算出した。

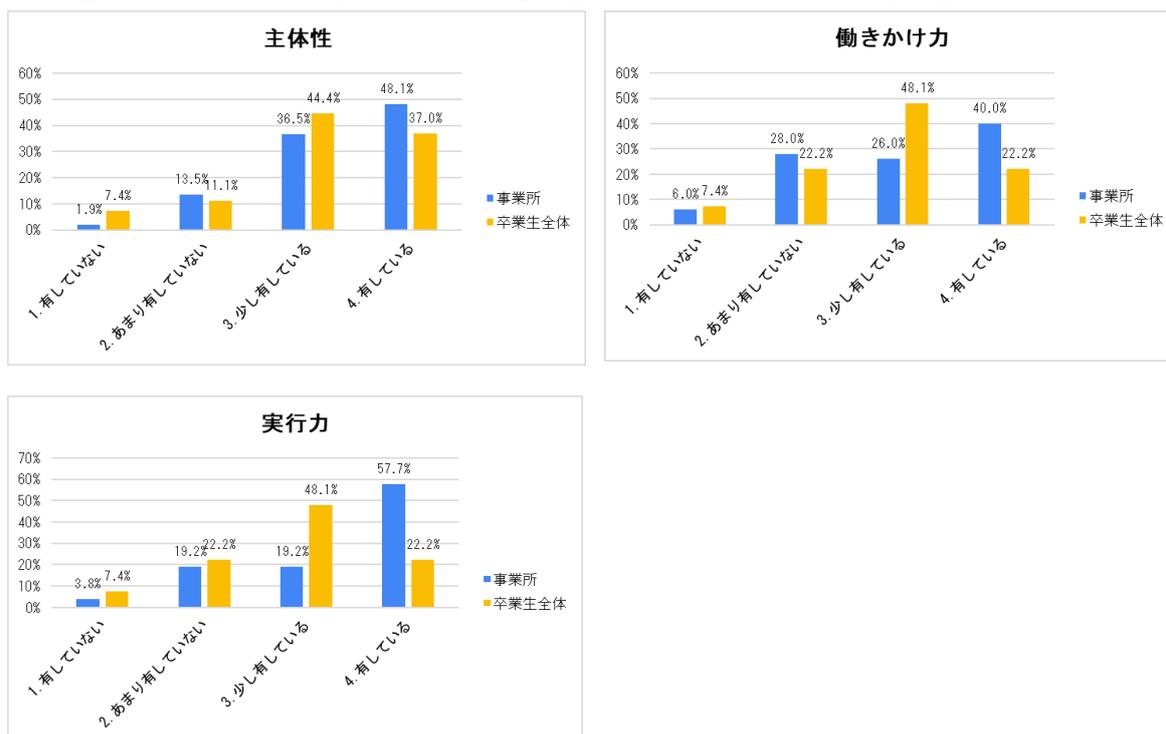
卒業生については、卒業生全体の回答を示す。回答者数が少ないため、百分率の数値

が大きくなってしまい、単純比較が難しい点を最初に断っておく。

### a. 前に踏み出す力（アクション）

卒業生全体（橙）では、「物事に進んで取り組む力（主体性）」を「4. 有している」と回答した者は 37.0%であった。一方、「他人に働きかけて巻き込む力（働きかけ力）」、ならびに「目的を設定して確実に行動したりする力（実行力）」を「4. 有している」と回答した者は 22.2%であった。3項目ともに、「3. 少し有している」と回答した者が最多であった。

2024年3月卒業生に対する事業所（青）の回答では、昨年度の調査と比較し、「物事に進んで取り組む力（主体性）」を卒業生が「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した事業所、また「目的を設定して確実に行動したりする力（実行力）」を「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した事業所が 80%前後で、前回調査より低い値を示した。「他人に働きかけて巻き込む力（働きかけ力）」については、約 30%超の事業所が「2. あまり有していない」、または「1. 有していない」と回答した。

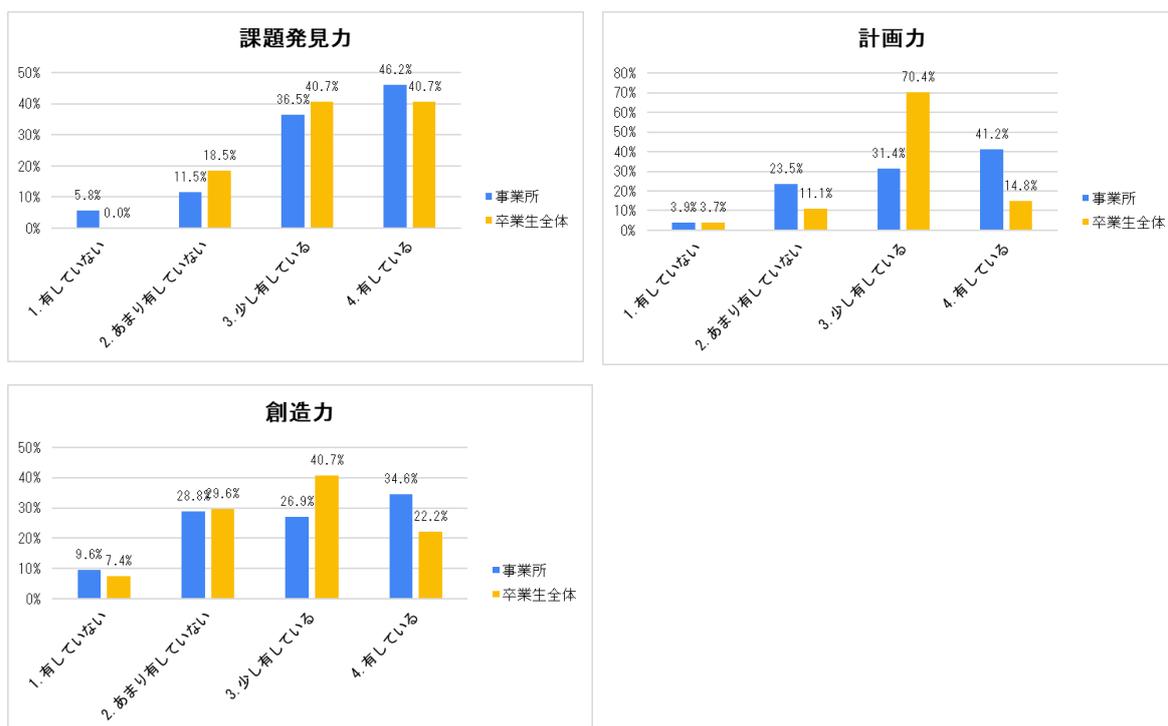


### b. 考え抜く力（シンキング）

卒業生全体（橙）では、「現状を分析し目的や課題を明らかにする力（課題発見力）」、「課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力（計画力）」を「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した者が、前回調査と同様に 80%以上であった。一方、「新しい価値を生み出す力（創造力）」については、「4. 有している」、または「3. 少

し有している」と回答した者は約 60%に止まった。さらに、「1. 全く有していない」と回答した者が約 7%、「2. あまり有していない」と回答した者が前回調査と比較して約 5%増加し、約 30%を占めた。

事業所（青）については、「現状を分析し目的や課題を明らかにする力（課題発見力）」を「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した事業所が 80%以上を占めたものの、「課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力（計画力）」では約 70%、に止まった。さらに、「新しい価値を生み出す力（創造力）」については、4 割近くの事業所が「2. あまり有していない」、「1. 全く有していない」と回答した。

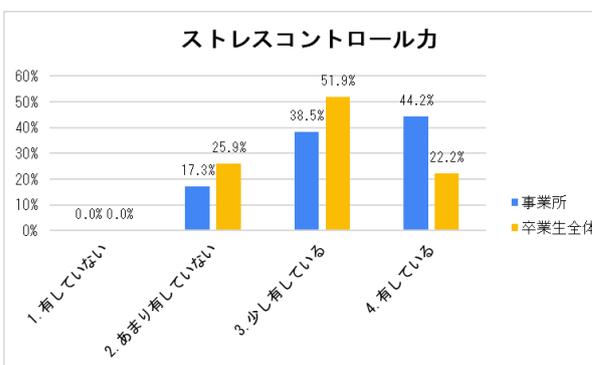
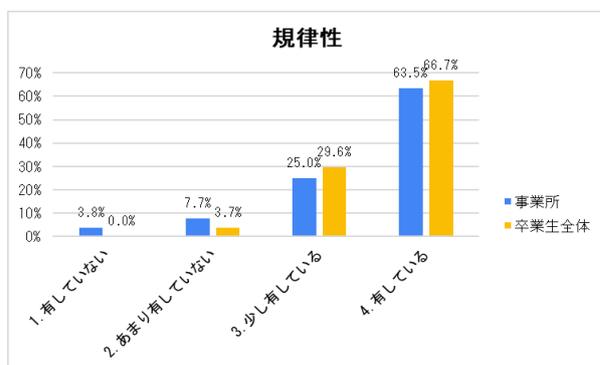
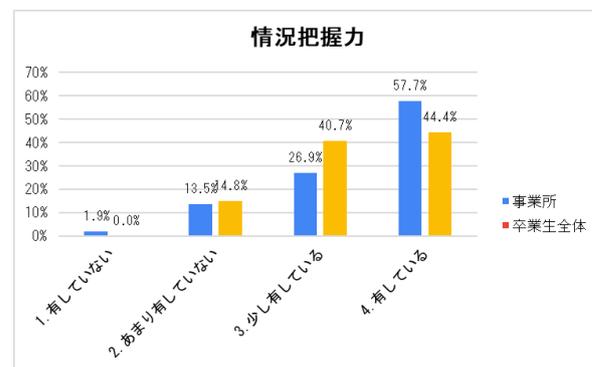
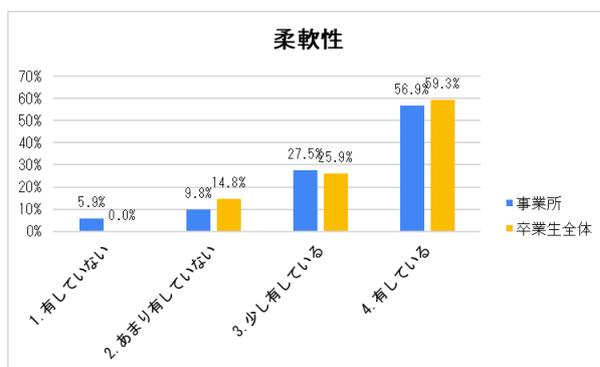
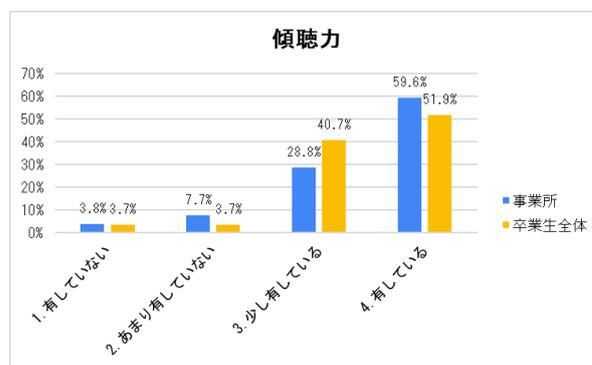
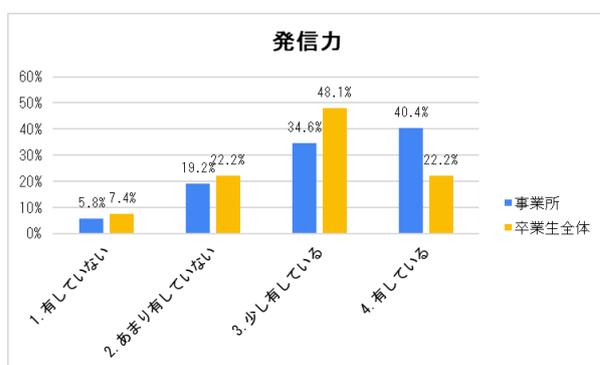


### c. チームで働く力（チームワーク）

卒業生全体（橙）では、「自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）」、ならびに「ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）」の 2 項目において「3. 少し有している」と回答した者が約半数を占め、最多であった。一方、「相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力）」、「意見の違いや立場の違いを理解する力（柔軟性）」、「自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力（状況把握力）」、「社会のルールや人との約束を守る力（規律性）」の 4 項目では、「4. 有している」と回答した者が最多であった。また、「意見の違いや立場の違いを理解する力（柔軟性）」、「自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力（状況把握力）」、「社会のルールや人との約束を守る力（規律性）」、「ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）」の 4 項目では「1. 全く有していない」と回答した者はいなかったが、「自分の意見をわかりやすく伝える力（発

信力)」、ならびに「相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)」の2項目では「1. 全く有していない」と回答した者が存在し、特に「自分の意見をわかりやすく伝える力(発信力)」では、「2. あまり有していない」と回答した者と合わせて約3割を占めた。

事業所(青)では、6つの力全てにおいて「4. 有している」と回答した事業所が最多であったが、「自分の意見をわかりやすく伝える力(発信力)」については、「2. あまり有していない」と回答した事業所が約20%、「1. 全く有していない」と回答した事業所が約6%存在した。また、「ストレスの発生源に対応する力(ストレスコントロール力)」については、「1. 全く有していない」と回答した事業所はなかったものの、「2. あまり有していない」と回答した事業所が17.3%存在した。一方、「相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)」、「社会のルールや人との約束を守る力(規律性)」の2項目では、「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した事業所が約9割存在した。



10. 本学在学中にあればよかったと思う教育（卒業生、人名以外原文ママ）

- ・なんとなく作らせるのではなく、座学をしてから実習の順がいいと思います。  
在学中は実習→座学でした。
- ・現役歯科技工士に教わる時間
- ・ありましたがグループワークなどがあると集団の中で働く力が身につくそうです。
- ・臨床症例、口腔外科系の技工
- ・実習などで現場の技工士さんからの授業
- ・チームマネジメントやマーケティング、経営についての授業  
→技工については歯科技工士として働くうえで嫌でも自分で勉強するが、上記で提案させていただいたものに関しては基礎知識も全くない皆無な状態からの勉強は社会人で時間もない中かなりしんどい。基礎知識だけでも授業で教えてほしい。授業でなくても生涯学習セミナーでやってほしい。学びたい。今の職場ではありがたいことにチーフをさせてもらっているが、そのような悩み(チームマネジメントやマーケティング、経営)を持つ人が来年、再来年あたりには出てきそう。

11. <<2021-2024年4月・中途入職者について>>お気づきの点や様子をお聞かせください。(事業所、原文ママ(ただし事業所名は伏せている))

- ・入社後間もない方が多いのでまだわからないというのが現状です。
- ・真面目な方が多く、同期の中でも早いうちから職場に溶け込んでおられます。  
製造部門は毎日真面目に職場に来て、コツコツ仕事をしてもらう事が一番大切になりますので、その点に関しては安心して見ています。一方で自分から新しく道を切り開いて行くような方がこれまではおられなかったため、その他部門への配属実績が今のところございません。他校から入社された衛生士・技工士さんは開発や営業に配属もされておりますので、貴学から入社いただく方の特徴かもしれません。
- ・積極的に行動でき、周りの状況が見えるようになった。
- ・一生懸命に仕事に取り組み、人間関係的にも非常に円滑にできている
- ・高校生の時から当院でアルバイトしているのでスタッフとのコミュニケーションを円滑に行っています。患者さんに対する接遇も自分なりに考えて行っていることが評価できます。衛生士業務も良くやって貰い助かっています。
- ・非常に前向きで有望なスタッフです。
- ・歯科衛生士、歯科技工士ともにペースはそれぞれですが、一人ひとりが努力し知識・技術の取得に励んでいます
- ・とてもまじめに取り組んでくださっています

- ・素晴らしい。
- ・歯科衛生士としてよく教育されていると考える。
- ・真面目に仕事に取り組んでくれています。
- ・勤勉、おおらかで自己犠牲も目的のためなら行う。キャリアアップと将来像を考えている。
- ・初年度に比べ、年々衛生士業務を責任もって行うようになってきた
- ・真面目に頑張っています。
- ・大変よく頑張ってくれています。
- ・しっかりと勤務していただき、助かっております。まだ6か月しか勤務してないので、質問に対する回答が難しいと感じました。今後ともよろしく願いいたします。
- ・考えて行動する力が足りない
- ・ストレス等を感じ表情に出る事はあるが、周囲とコミュニケーションを取りながら自分で考え行動することができている
- ・本当に素敵な子で活躍してくれています！
- ・貴学卒業生は、他施設でも拝見しますが、真面目でとても良い方が多いように思います。これからも是非ともお願いしたいと思います。
- ・教えたことへの呑み込みも早くとても勤勉に働いてくれています。
- ・2名在籍していますがお互いにフォローしながらよく働いてくれています。衛生士という職業柄身につけるべき技能がありますのでそちらについては外部講師の先生をお招きし、院内セミナーを行いながら学んでいる最中です。定期的に個別で面談を行い、今の課題や出来ているところを確認し、それぞれが成長できる環境作りに医院全体で努めています。
- ・研究熱心、前向き思考
- ・社会人としての一般的なマナー、一般常識が欠落している。
- ・志しが高く申し分ありません。
- ・特記事項なし
- ・特になし
- ・なし
- ・歯科技工士としての基本的なこと（矯正歯科治療における）が理解されていない
- ・患者さんとのコミュニケーションが苦手で、体調崩す子がいます。何とかならないでしょうか？
- ・大変、前向きです。
- ・歯科衛生士として採用しましたが、今は経理業務を担当してもらっています
- ・凄く頑張ってくれてます。
- ・新しいことや勉強会への参加意欲が高いです。

- ・3年教育の学生より、病院業務に対してなど幅広く知識があるため、理解が早く助かる
- ・専門学校卒生よりも理解力があって仕事ができる。
- ・歯科衛生士として働く際の知識が足りない。
- ・衛生士と言う自信を持って患者に接する子と、言われた事をやるのに精一杯の子と個性溢れている。娘のように育ててみたい。
- ・特に感じない
- ・自主性があまりない。平均的なスタッフでいようとする傾向がある。ミーティングで発言をもっとしてほしい。
- ・よく気が付きができる職員で助けられています
- ・順調にキャリアを積んでいます
- ・積極的に質問し先輩から多くを学び、後輩の指導にも携わってくれています。
- ・前向きにどんどん新しいことに直向きに取り組んで成長しております。
- ・一つ一つまじめに丁寧に取り組んでいる。
- ・なにもないです。良い子です。
- ・在籍している医院が異なるため、評判程度のものになりますが、悪い評判は聞かれないです。
- ・貴学卒業生は、入社時22歳以上の為、何事にも落ち着いて冷静な判断で行動されていると感じます。
- ・四年生の為、3年生と比較して知識、基礎がしっかりしています。
- ・とても優秀です。
- ・人間力やコミュニケーション能力が高く、仕事の能力も高く何事においても積極的に取り組める
- ・同期がいない中、自分が何をすべきかを考えて頑張っていると思います。
- ・令和5年3月入職で、以前の職場では院長先生との間に溝があった様ですが、彼女自身に問題があった様には思えません。
- ・入職前にマッチングなどのシステムがあれば、入職してからの早期の退職など無いと思います。何かいい方法があればと思います。
- ・上司から言われたことだけでなく、独自に疑問を持ち日常の業務の中で工夫する力を有している。
- ・セミナーなどに積極的に参加されており、常に向上心を持って仕事をされています。
- ・学ぶ意識が高く、論理的に考えられるため、確実に成長することが出来ている。
- ・初めの3か月間は土地に慣れること・業務遂行の準備期間を目的に行き、その間は彫刻をメインに行った。自己研鑽で業務終了後も残って彫刻を行っており業務に対する意欲が理解できる。周りとのコミュニケーションも取れており、先生方

への対応もしっかりできている。今後期待が持てると思います。

- ・チーフ昇進をした方もいらっしゃいます。よく業務に取り組んで頂いております。
- ・丁寧な患者対応で勤務しており他職種との協働にも積極的に取り組んでいる
- ・業務（技術）を取得するために積極的に取り組まれており、忙しい中でも能動的に行動され、活躍をしてもらっています。
- ・個人差があり、自己研鑽など非常に頑張ってる人もいます。

## 12. 本学卒業生および本学の教育に対して望むこと（事業所、原文ママ）

<卒業生に対して望むこと>

- ・主体性があり、心身共にタフであってほしいです。（心身ともにたくましい人材であってほしいです。）
- ・弊社はメーカーで圧倒的に製造部門の人員が多いため、今後も実直に仕事に取り組んでいただける方とご縁がある事を望んでいます。
- ・向学心
- ・素直、他人への思いやりがある
- ・何もない
- ・特になし
- ・コミュニケーション能力
- ・満足しているので特にありません。
- ・教育がいいのでは。
- ・目標をもって業務に取り組んでいてほしい
- ・特にありません。
- ・向上心
- ・当院では、歯周病治療に力を入れております。歯周初期治療をしっかり学びたい方やスキルアップされたい方には是非見学に来て頂きたいです。
- ・専門職であることの意識を持ち、常に学び続けることへの貪欲さとモチベーションを保つことの持続力を有して、働くことが大事であると思います。
- ・現在の二人は将来有望。焦らず、少しずつステップアップ。
- ・画像加工などのPCスキル。instagramやSNSなどの発信として必要なため。
- ・なし
- ・歯科医院勤務におけるコミュニケーション力・歯科技工士としての知識の充実
- ・休まない体力と精神力。
- ・社会性のある生徒
- ・前向きに取り組む姿勢と周りとの調和
- ・多職種連携や組織における業務など、歯科だけでなく様々な職務に対して興味をもち積極的に取り組んで欲しい

- ・ 接遇の向上。この点に関しては教育されてきていないためか、初めのうちは患者さんからクレームがあった。
- ・ みずから研修会等に参加するなどして勉強してほしい。
- ・ 挨拶を大きな声ですること。一日の始まり、患者や同僚との挨拶は一瞬で明るい雰囲気にかえます。
- ・ 対応力 コミュニケーション
- ・ 優秀ではあると思うのもっと全力を出してほしい。
- ・ スキルの向上に対する積極性
- ・ 積極的に素直に学ぶ姿勢
- ・ 誠実さ
- ・ 人にやさしく、向上心を持って、何事にも丁寧に取り組める心身。
- ・ 周囲の人と業務を効率良く進めていく力
- ・ 医療人として、自分の損得ではなく、困っている人を助けたい、そういう思考を持っていて欲しい。
- ・ コミュニケーション能力と協調性
- ・ 歯科衛生士業務の中で、自分が興味を持てる分野を見つけて成長してほしいです。
- ・ 専門職としての高い自覚を持っていただきたいです。(貴学の卒業生だけでなく、全体的に言えることです)卒業したら、それで勉強が終わるのではなく、卒業してからも、常に向上心を待ち知識を増やし、患者さんにフィードバックしていただきたいです。
- ・ 今在籍している卒業生は良く頑張ってくれているので望むことはありません。
- ・ 社会適応能力
- ・ 協調性がありつつユニークな視点を持っており非常に優秀である。一方で周囲を巻き込む力には乏しい。一步を踏み出す積極性が欲しい。
- ・ 業務に慣れたら研究なども行い、当院の歯科技工士として当院へ貢献出来たらと思います。
- ・ 皆さん、人柄もよく、日々励んでくださっています。課題としては新しいことに取り組むことへの恐れが多いのかな、と思います。研修を行い、先輩がサポートの上、新しいことに取り組んでも、失敗を恐れチャレンジできないことがあります。在学中から私達も実習などを通じて、チャレンジ精神の育成をサポートなどできればな、と感じます。
- ・ 将来的に技術だけではなく、マネジメントも意識して頂き、後輩の育成や部署の管理も含めて広い視野で引き続き活躍して頂きたいです。
- ・ 社会人としての自覚と責任をしっかりと持ってもらいたいです。

### <教育に対して望むこと>

- ・様々な症例を見せて頂きたい。一度でも経験しているだけで理解度は違う気がします。
- ・メモをしっかり取る癖、自分でまとめて学ぶ力を付けさせてください
- ・医療従事者としての身だしなみや心構え、頭髪の色、ネイルなど
- ・何もない
- ・医療人の心構え。
- ・SRPの実習、レベル向上
- ・医療人としての心構えを教えていただきたい
- ・特にありません。
- ・社会人としてのマナー
- ・当院では、フリーランスの歯科衛生士さんを定期的にお呼びし、直接臨床指導を行っております。学生の中に、指トレ、ポジショニング、SRPの実践をより多く経験させてあげて欲しいです。
- ・実習についてですが大学内だけでなく、他の一般歯科にも少しだけでも見学する機会を与えた方が良いと思います。大学病院との違いを見ることで新たに気づく点や働き出してから理解できることも多々あると思います。
- ・社会人としての一般的なマナー、一般常識に関して教育してほしい。
- ・ポストグラデュエートコース（働きながらの認定歯科衛生士コースなど）。
- ・なし
- ・実習技能の向上
- ・矯正歯科も就職の選択肢となるように、矯正の教育を充実してもらえたら嬉しいです。
- ・コミュニケーション能力の向上
- ・社会的なマナー
- ・勤務先によって専門的な業務に偏るため、学生の時に幅広い歯科衛生士業務の実習ができるとすばらしいと思う
- ・卒後研修ができればお願いしたい。
- ・教えられるばかりではなく自己研鑽をして成長できるような教育をして欲しい。
- ・今回は先輩によるイジメが新人に対してあったが、悩み事はキャリアセンターに言っておいで、先生方心配してるよっと言うと、凄く嬉しそうな顔をしていた。セカンドオピニオンや、冷静になる場として、キャリアセンターが社会における悩みに対しての相談をしてくれると、離職も減ると思う。
- ・医科歯科連携に対するスキル
- ・学部教育における口腔ケア技術の標準化
- ・都市部への就職ばかりでなく地方の公立病院をはじめ公的機関への就業をもっと

促してもよいのではないでしょうか

- ・基礎知識の大切さを知ること。接遇力や聞く力、コミュニケーション能力
- ・仁義礼智信を積める教育。
- ・臨床の知識
- ・医療人としての思考、社会人としての責任を、人間力のところ、教育して頂きたい。
- ・専門学校(2~3年)よりも長い4年間の学業のアドバンテージが、就職後に発揮できるように貴学学生様がどんなことを学び、何ができるのかをもっと企業にアピールしていただくことで、採用時(配属部門)の参考にさせていただければ幸いです。
- ・実習中に生徒が放置されている状況が多いので教員がしっかり指導を行ってください。
- ・個人の自主性をより伸ばすような教育をしていただきたいです。
- ・職種的に女性が圧倒的に多く、結婚や出産などのイベント時に、仕事から離れてしまうのはある程度仕方ないと思います。しかし、他の多くの人と違い国家資格を持っているので、落ち着いたら継続して仕事を続けていただきたいです。昔と違い、社会的なシステムも異なりますし、ブランクがあっても、再教育するシステムが各県や重点拠点にある事、内容などを卒業前に教育して頂きたいです。
- ・決まったカリキュラムがあり大変かと思いますが、ありがた教育や社会人教育等も導入してもらえると嬉しいです。
- ・入職してくれた2名とも非常に素晴らしい人材です。貴学の教育の賜物だと思います。引き続きよろしく願い申し上げます。
- ・きちんと、学生に必要なスキルを身につけられるように教育されていると思います。
- ・皆さんとても優しく患者様に寄り添ってくださっています。御学の教育に感謝申し上げます。採用面接や入社後の月次面談でも、「将来どんな歯科衛生士になりたいのか」というビジョンがなかなか描けていないのかな、と思います。御学にも素晴らしい先輩達が沢山いらっしゃるかと存じますので、そういった先輩達の紹介だったり、何か将来のビジョンを描けると良いのかな、と思いました。
- ・基礎的な知識を引き続き教育して頂き、是非弊社に興味がある学生がいましたらご紹介をお願いいたします。
- ・学生時代はもちろん卒業してからの研鑽の大切さを説いてもらいたいです。

## 総括

- ・今回も前回調査と同様に卒業生の回答率が非常に低かった。キャリアセンターに卒業生登録をしている者が卒業生の約3分の1であり、さらに回答者がその約4分の1であることを鑑みるに、在学時からのキャリアセンターの存在意義を示す必要がある。この点については、昨年から本学部同窓会などと協力し、卒業生の現況把握に努めているところである。
- ・昨年度の調査同様、卒業生の自己評価が全体的にやや低い傾向がみられた。
- ・本学卒業生は、何か課題等を与えられるとその処理や解決に向けて動こうとする姿がみられる。また、約半数の事業所からの回答にもあるように、自ら課題を発見することについても前回調査よりは自覚し、また改善されてきている傾向もみられた。しかし、問題解決に向けて具体的に何をどうしていくか、周囲にどのように働きかけるか、どう発信していくかという点についてはまだまだ改善の余地があることが明らかになった。
- ・本学卒業生は相手の話を聴いて状況を把握することには大きな問題はないが、創造力や柔軟性に欠け、コミュニケーションを図ることにも苦労しており、今一歩前に踏み出せていないように見受けられる。
- ・事業所が大学卒業者として本学卒業生に求めているのは、調査開始以降一貫して、今回も自ら考え、動き、発信する点、また課題を見つけ解決する点であった。
- ・事業所では、調査開始以降今回も在学中に臨床知識や臨床技能および技術をさらに身につけてから社会に送ることを期待しているところと、社会人としてのコミュニケーション力、将来へのビジョン、管理能力等を身につけてから社会に送り出すことを期待しているところがあることが明らかになった。知識や社会性の不足が、卒業生の成長やキャリア形成の足枷になっているのではないかと危惧される。
- ・本学では1年次よりキャリアセミナーを開催しているほか、医療人キャリア形成論や医療コミュニケーション学等を開講している。また、臨床実習の発表会や研究発表会等を通し、4年間で問題把握、解決に向けてのスキルを身につける機会があるほか、グループでのプレゼンテーションを行い、発信力を高める教育を行っている。今回の調査結果から、教育内容の一層の充実とともに、それらを自信を持って発揮することを学生にこれまで以上に伝えていかねばならないことを痛感した。また、4年制大学卒業者としての社会に対する役割や責務など、また医療従事者としての使命などについて、これまで以上にさらに積極的に伝えていく必要があると考えられる。
- ・今回の調査結果は、卒業生全員、ならびに卒業生の就職先全てのご意見を反映したものではないとはいえ、本学にとって本当に貴重なものである。今後も調査を継続し、本学のキャリア形成支援、キャリア教育に反映させていきたい。

以上